

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成18年2月23日(2006.2.23)

【公開番号】特開2004-218606(P2004-218606A)

【公開日】平成16年8月5日(2004.8.5)

【年通号数】公開・登録公報2004-030

【出願番号】特願2003-9857(P2003-9857)

【国際特許分類】

F 0 2 D 41/06 (2006.01)

F 0 2 D 29/02 (2006.01)

F 0 2 N 11/08 (2006.01)

F 0 2 N 15/00 (2006.01)

【F I】

F 0 2 D 41/06 3 8 0 A

F 0 2 D 29/02 3 2 1 A

F 0 2 D 29/02 3 2 1 B

F 0 2 N 11/08 P

F 0 2 N 15/00 Z H V E

【手続補正書】

【提出日】平成18年1月10日(2006.1.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

自動停止条件成立時に内燃機関を自動的に停止させ、自動始動条件成立時に内燃機関を自動的に再始動させる自動停止始動手段と、

前記自動停止条件が成立して前記自動停止始動手段により内燃機関が停止した後、前記自動始動条件が成立して前記自動停止始動手段により該内燃機関が再始動する場合に、該内燃機関への燃料の供給を制限する制限手段と、

を備え、

前記自動停止始動手段は、前記自動停止条件成立時に内燃機関への燃料の供給を停止させて内燃機関を停止させ、

前記制限手段は、前記自動停止始動手段により内燃機関への燃料の供給が停止されてから、回転検出手段により内燃機関の回転の停止が検出されるまでの間に、前記自動始動条件が成立した場合に、内燃機関への燃料の供給を制限することを特徴とする内燃機関の自動停止始動装置。

【請求項2】

前記制限手段は、運転者により操作されるアクセルペダルの踏み込み量に基づいて決定される内燃機関への燃料の供給量を制限することを特徴とする請求項1に記載の内燃機関の自動停止始動装置。

【請求項3】

前記自動始動条件が成立した場合に、内燃機関を始動させるスタータを備えることを特徴とする請求項1又は2に記載の内燃機関の自動停止始動装置。